図画工作科　年間指導計画例

第４学年　　　　　　　　　　　　前期１７時間　　　後期２８時間　　　　総時数４５時間

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 題材名【領域】 | 学習指導要領の内容 | 時数 |
| 知識及び技能の習得活用に関わる用具材料 | 思考力、判断力、表現力等 |
| 発想・構想に関わる指導配慮事項子どもが豊かに発想や構想をする基となる形や色などの感じ | 鑑賞に関わる指導配慮事項自分の見方や感じ方を広げるために子どもが考えること |
| 前期 |
| ６ | 絵の具で遊んで「自分いろがみ」【絵】【鑑】 | 水彩絵の具 | つくった色から | 造形的なよさや面白さ | ４ |
| ７ | つくって、つかって、たのしんで【工】 | シナベニヤ板カラードフォルム | 切った形から | 造形的なよさや面白さ | ４ |
| ＜夏休み＞ |
| ８ | リズムにのって【立】 | 土粘土 | 感じたことから | 表したいこといろいろな表し方 | ２ |
|  9 | トントンつないで【工】 | 金づち・釘、のこぎり | つなげた木から | 造形的なよさや面白さ表したいこと | ５ |
| いい場所見つけて、囲んでみよう【遊】 | ラップや布などの身辺材 | 身近な場所（校庭の遊具等）から | 造形的なよさや面白さ | ２ |
| 後期 |
| 10 | ほると出てくる不思議な花【絵】 | 小刀、彫刻刀 | 彫ったり刷ったりしたことから | 表したいこといろいろな表し方 | ６ |
| １1 | 木々を見つめて【絵】 | 水彩絵の具 | 木から感じたことから | 表したいこといろいろな表し方 | ５ |
| みんなで、どんどんむすんで、つないで【遊】 | 木切れ、枝など | 身近な材料や場所から | 造形的なよさや面白さ | ２ |
| １２ | 願いの種から【立】 | 身辺材 | 自分の願いや夢から | 表したいこといろいろな表し方 | ４ |
| ＜冬休み＞ |
| １ | へんてこ山の物語【絵】 | 水彩絵の具 | 「へんてこ山」の言葉から | 表したいこと表し方 | ４ |
| 2 | カードで味わう、形・色【鑑】 |  | 言葉と形や色から | 造形的なよさや面白さ | ２ |
| ２・３ | ゆめいろらんぷ【工】 | 透過性のある身辺材 | 形の感じや身近な場所（家庭）から | 表したいこといろいろな表し方 | ５ |
| 標準時数　　　６０　　時間教育課程再編成２割５分減　４５　　時間（授業がある１０か月のうち４・５月と６月の半月の２カ月半を除き授業時数を計算） | 4５ |

**※形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせ感じ、色の明るさをとらえることに関わる知識や、自分のイメージをもつことに関わる思考力、判断力、表現力等の〔共通事項〕は、すべての題材に関わることして表記を省いている。**

**※絵、立体、工作の題材の配分をおおよそ等しくすること。**

**※造形遊びは、９月から、現状からすると１０月以降にすること。**

|  |
| --- |
| その他の教科書題材各校の実態に合わせて、入れ替えても可。 |
|  | 見つけたよ、この色すてきだね、その色【絵、鑑】 | 水彩絵の具 | つくった色や形から | 表したいこと表し方 | ２ |
|  | 友だち、たくさんあつまって【絵】 | 自分マーク・アニメーションの系統性 | 同じものをたくさん書いたものから | 造形的なよさや面白さいろいろな表し方 | ２ |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |